

# ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」  
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ  
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

02.17キキ  
 の墓守り花  
 の福寿草、  
 葉を広げ始  
 めた春。



## 1 春の種蒔き始まる



02.19ノハウレン草の種きカカ3列  
 トトは2列、→1穴に5粒蒔いてゆく



2月後半21℃の日が続き、畑も春を迎える準備。カカに誘われ畑へ、葉物野菜の種蒔きをした。1畝の6割にハウレン草種を蒔き、残り4割にはボールペン先のように細かいタアサイ・ルッコラ・サラダ水菜・小松菜・チンゲン菜とカブの種を少しづつ蒔いた。これからは雨後に

湿った畑を耕し直し、ポット苗作りの準備をします。



←ハウレン草畝の種蒔きが終わり、保温シートを被せノトンネル作り霜除けネットを張る  
 ↓長ネギ苗植え用の2畝を掘る位置に水糸を張るカカノトト2畝を掘る長ネギの苗ノ



↑ニンニク育つ  
 ←ワケギとニンニクに追肥と水遣り

## 2 「ナナミちゃんのお宿」は？



ナナミちゃんのお宿から庭畑を見ると、カカは畑で水遣り仕事。左には満開の梅、春が来れば目の前のスモモや水仙が咲き、木々は萌黄色に染まる。順調にワクチン注射が進み、新型コロナが収束に向かうことを祈るばかりです。

### 目次

1 春の種蒔き始まる	1
2 「ナナミちゃんのお宿」は？	1
3 キノコ増産計画	2
4 二月のお味	2

### ハイライト

雨水・初候「土脉潤起つちのしょううるおいおこる」雨が降り注ぎ、土が湿り気を含み出すという意味。この時節はまだ気温が低いいため、雨が降った後も乾きにくく、これに雪解けや霜も加わって土がぬかる



02.18庭の椿咲く、小輪でも色濃く艶やか。

みやすい。これを「春泥」という。歩きにくいのは困るが、このぬかるみも春の本格的な訪れを実感させる風物詩の一つだった。まだ残る雪を押しつけて咲く花があり、それらは「雪割草」などと呼ばれ、サクラソウ科の多年草はその代表格で、日本全国土の高山地帯に自生する。地方によっては同じくキンポウゲ科の「一輪草」や「二輪草」、ユリ科の「猩々袴」などをさすこともある。わが家の庭では、東京から移植した雪割草は咲きそうもなく、猩々袴は絶えてしまい、一輪草に二輪草だけは春を忘れずに咲いてくれる。



### 3 キノコ増産計画

毎年この時期になるとキノコ作りで、原木用の木を切る。椎茸は毎年同じ本数で、ナメコと平茸は収穫が減ったので、ナメコを少しと平茸は冷凍保存が出来るので多くする。駒菌は地元の山梨県産を、500駒単位なので表を作って検討、3月初めに打込む予定。



↑01.20お宿前のクヌギ3本を切り倒し、キノコ原木作り始める。



↑薪材とノツル豆の誘引枝と↑キノコ原木に分け、切り出し終わる



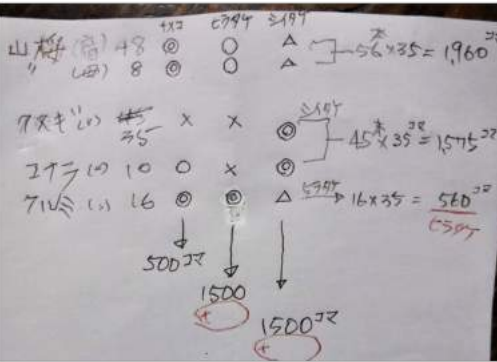
ノ雨水で濡れないように庇の下へ移動、乾燥させる。



←01.31畑の菓子クルミを切り倒し、午後から家の林でコナラと山桜を切り倒す ↑クルミと山桜の原木



←02.09近くの松林で山桜を切らせてもらう。



↑ノ三日間のキノコ原木の切り出し作業、薪割りと片付けで二日と冬期の仕事。←切り出した原木は山桜・クヌギ・コナラ・クルミで合計して駒菌4000個ほど本数に、例年2000個ほどですが、ナメコと平茸作りに適した山桜が入り出来たので、駒菌打込み作業頑張る!!



↑02.09カカは林から切った山桜の原木を運び出し、一輪車で家まで運ぶ、疲れる作業。

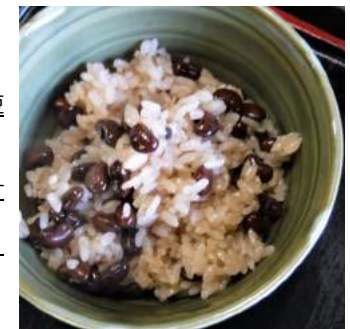


↑お宿の裏側で山桜の原木を積み上げ、乾燥させる。多いので駒菌打ち込み作業が大変だ。

### 4 二月のお味



←①もち米2合、うるち米1合、ササゲ豆1合と塩小さじ1杯。②水洗いした豆に水3.5カップを入れて圧力鍋で茹でる。③途中で茹で汁を捨て、2.5カップの水で再び茹でる。

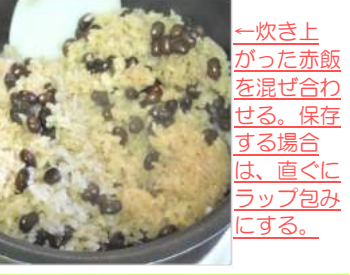


←④途中で圧力釜の豆の硬さを確認、つまんだ指でつぶせる程度の硬さに。⑤豆と茹で汁を取り分け、数回茹で汁を注ぎ落とし、空気に汁を晒し色良くする。⑥水切りした米に煮汁を注ぐ。

色々な赤飯の炊き方があるとおもいますが、ナナミちゃんのを紹介しました。よろしかったらお試しください。



←⑦煮汁はお強3合に合わせ、塩小さじ1と茹でたササゲ豆も入れ ⑧豆を広げ、炊飯スイッチを入れる。⑨炊き上げる。



←炊き上がった赤飯を混ぜ合わせる。保存する場合は、直ぐにラップ包みにする。